

活動報告（改）

移動方法→バス

- ① タマンサリ→水の宮殿でかつて王族や貴族が利用していた。池やトンネルやサウナな



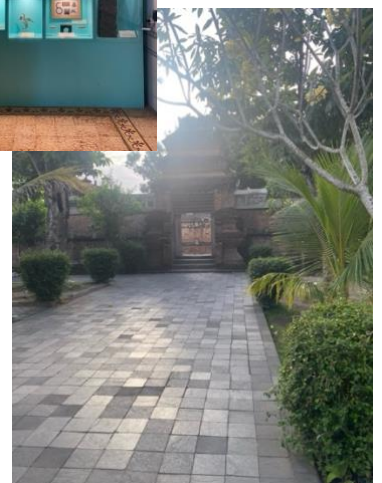
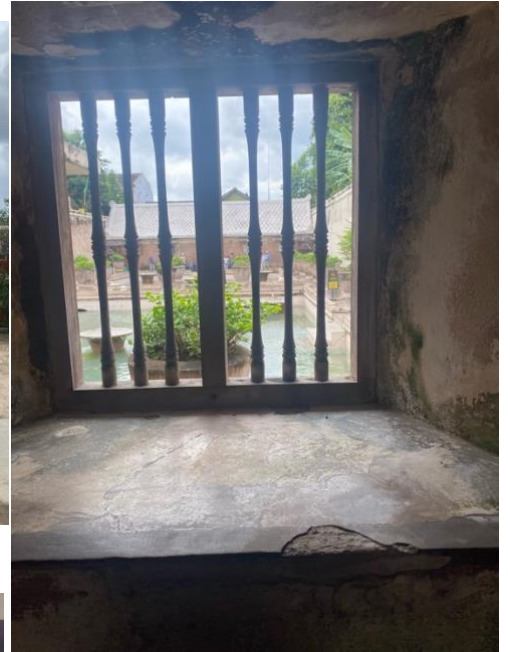
どがある。サウナからは外の池の様子を眺めることができる。また、トンネルは移動に使われ、王様のお祈りをする場所などに繋がっている。建物は、インドネシアの昔ながらのものと洋風の建物が混ざり合っている。特徴的な壁の模様にインドネシアの暦に関するものがあつた。

- ② ご飯→お昼はステーキのお店、夜はインドネシアの料理を食べた。先に色々食べ物が出てきて選んで食べるのは日本の方式とはまた違って面白かった。
- ③ コタゲデ→かつてお金持ちや貴族のいた場所。保存するための活動が行われているらしい。今では廃れてあまりその面影は感じられないなと思った。シルバーが有名なのでそれに関するお店が沢山あつた。

お金持ちの家→かつて商売をして財を築き上げた人の家。現在は買い取られ一般公開されている。ここではインドネシアの文化などについて学ぶことができた。

二つの門の間→二つの門が向かい合っている場所。その通りには植民地時代の名残がある建物が並んでいる。また、ここでインドネシアの家の軒下にある異変があるとき合図を出す道具について教えてもらった。

モスクの周りが雰囲気が悪くなかった理由→特に私は雰囲気が悪いとかは何も感じなかったのであまり気にしていなかった。他の人は感じたため考えてみると、現地の人にとって神聖な場所であるというのが理由の一つではないかと思った。一定の場所からはインドネシアの正装をしていないと入れないということはそれほど敬意をはらわなくてはいけないところなのではと考えた。そのため観光客などの見世物になるのは



あまり歓迎すべきことなのではないのだと感じる。